



HOTサンダルプロジェクト実行委員会



はじめに

HOTサンダルプロジェクトは、香川県丸亀市内の離島に東京の美術大学生を招き、制作活動に取り組んでいただくことで、アートによる島の活性化、若手芸術家の制作支援、文化芸術振興の推進を目的として2012年より実施してまいりました。

3回目を迎えた2014年も多くの学生にご参加いただき、活気あるプロジェクトとなりました。今回参加した学生たちが島の美しい自然や島民との温かい交流の中で制作した作品をご紹介します。

HOTサンダルプロジェクト実行委員会



HOT サンドルプロジェクトによせて

私の故郷、香川県丸亀市がアートによる島の活性化と若きアーティストの活動支援を目的として、HOT サンドルプロジェクトを発足してから昨年の夏で三年目を迎えることができた。

多摩美術大学、武蔵野美術大学、女子美術大学の三校の日本画科で学ぶ学生と研究室助手の方達を対象に参加を呼びかけ、毎年約 30 名が塩飽諸島の四つの島に滞在し創作活動を行ってきた。その間、島民の方達とのワークショップや美術館見学、また 8 月末には各々の島で島民の方達にも参加していただき作品を発表し、丸亀市内では「未来の収穫祭」と銘打ってすべての作品を一同に発表するなどの取り組みを続けてきた。

私は作品発表のプレゼンテーションの時から参加しているが、毎年学生達の豊かな感性に感動し、また島民の方達のあたたかなお心遣いに心打たれ、この三年間は夢のようであった。

瀬戸内海の島は美しい。都会には見られない、一瞬一瞬移ろいゆく色彩の輝きがある。ゆったりと流れる時間、海と地と空がとけ合い一つになる時がある。題材も大きさも自由、途中の指導もあえて入らない。非日常の生活を若者たちは瑞々しい力で独自の絵画へ新しい扉を開け飛び込んでいく。涙をいっばいに浮かべ島を去る学生達の姿を私は忘れられない。島の自然は学生達の心をつかみ、学生達は人のあたたかさと島で出会う。

これまで HOT サンドルを見守り応援していただいた皆様に心からお礼申し上げます。

日本画家 / 武蔵野美術大学日本画学科教授 三浦耐子

本島 Honjima



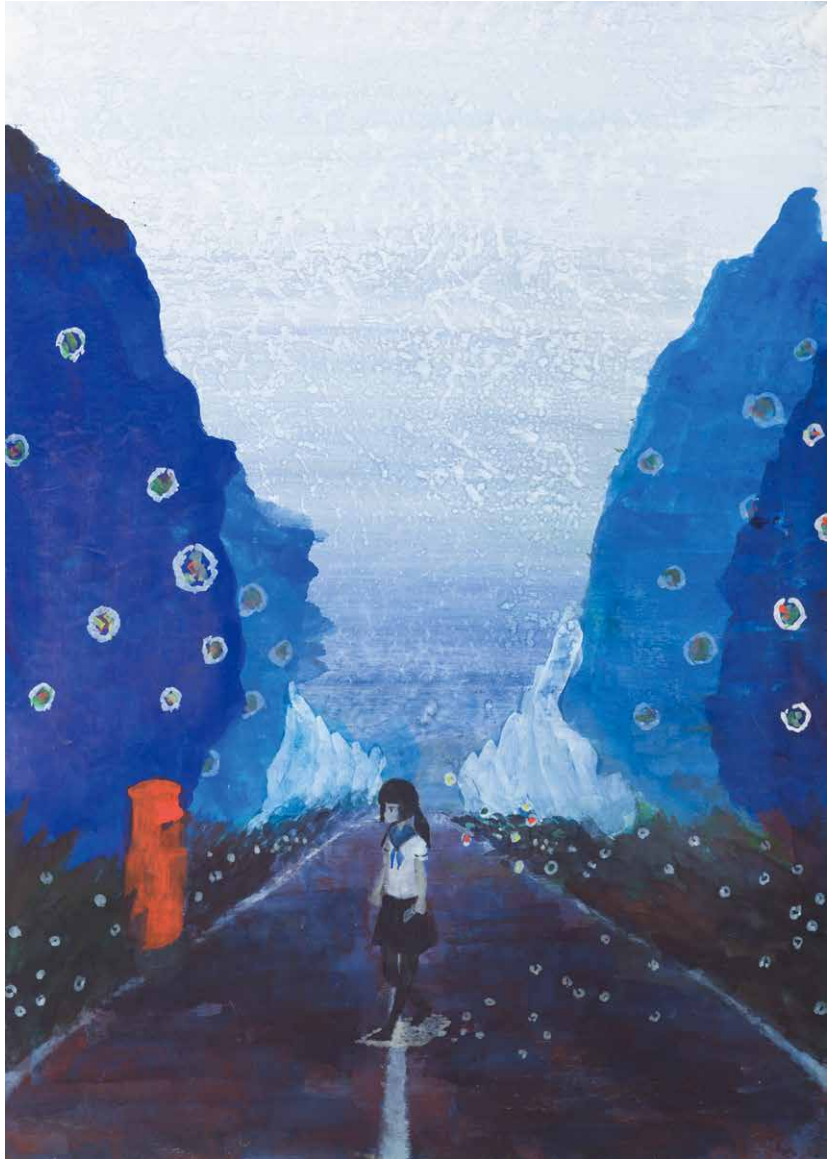
多摩美術大学
濱田 祐 Tasuku Hamada

「在りし日の憂鬱」 920x1260 高知麻紙、岩絵具、水干絵具、墨



多摩美術大学
久保 謙太郎 Kentaro Kubo

「しじま」 1620x1500 高知麻紙、岩絵具、水干絵具



多摩美術大学

遠藤 智也 Tomoya Endo

「赤いポスト」727x606 和紙、岩絵具

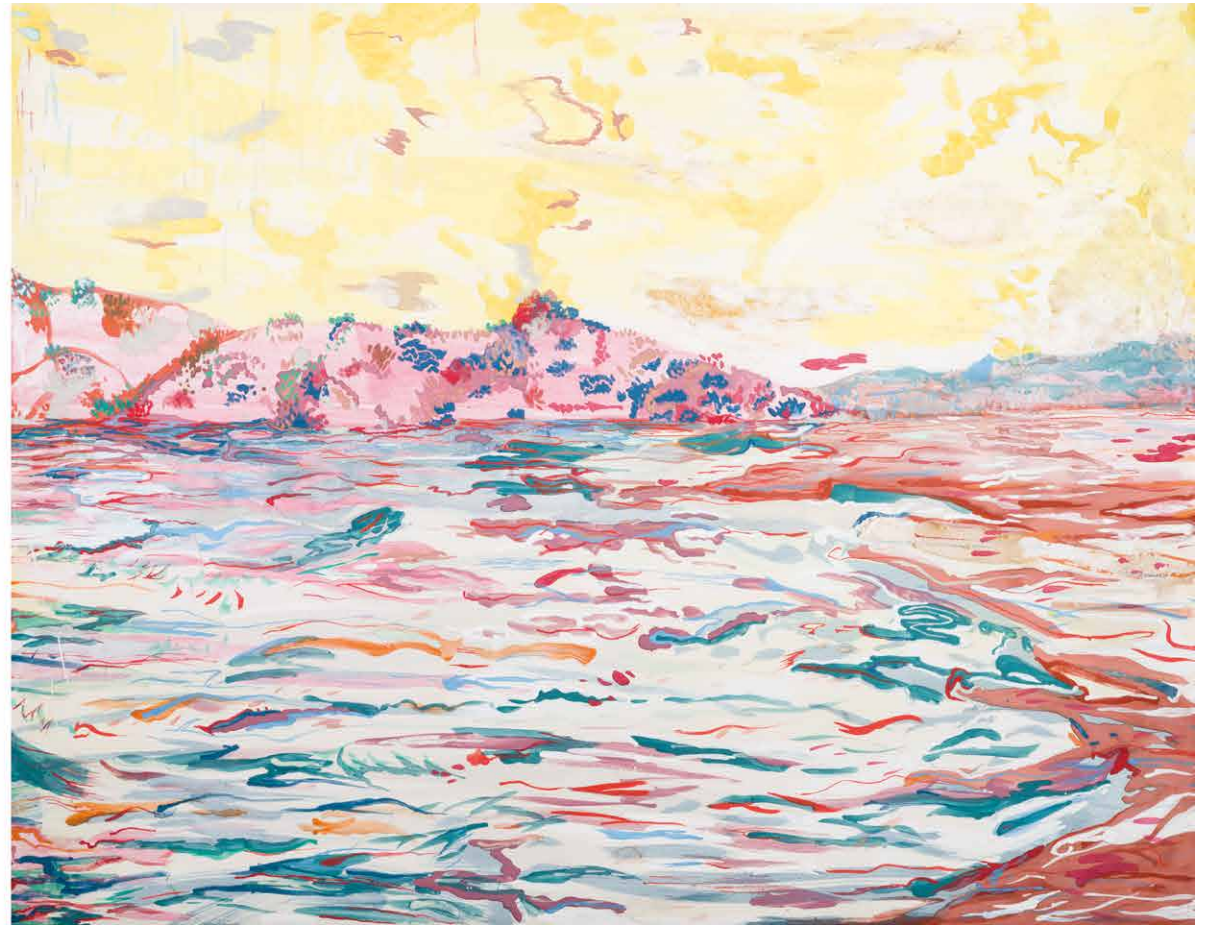
広島 Hiroshima



多摩美術大学

新舟 真由美 Mayumi Arafune

「みんなが通る場所」 1303x1620 和紙、岩絵具、水干絵具、パステル



女子美術大学

中島 彩 Sae Nakajima

「しまなみ」 910x1167x2枚 麻紙、岩絵具



武蔵野美術大学

奥 彩乃 Ayano Oku

「陸の島」 910x2334 麻紙、岩絵具、水干絵具、墨



武蔵野美術大学

角田 菜摘 Natsumi Kakuta

「心の中の風景」 1303x1303 和紙、岩絵具



多摩美術大学

柴田 真実 Mami Shibata

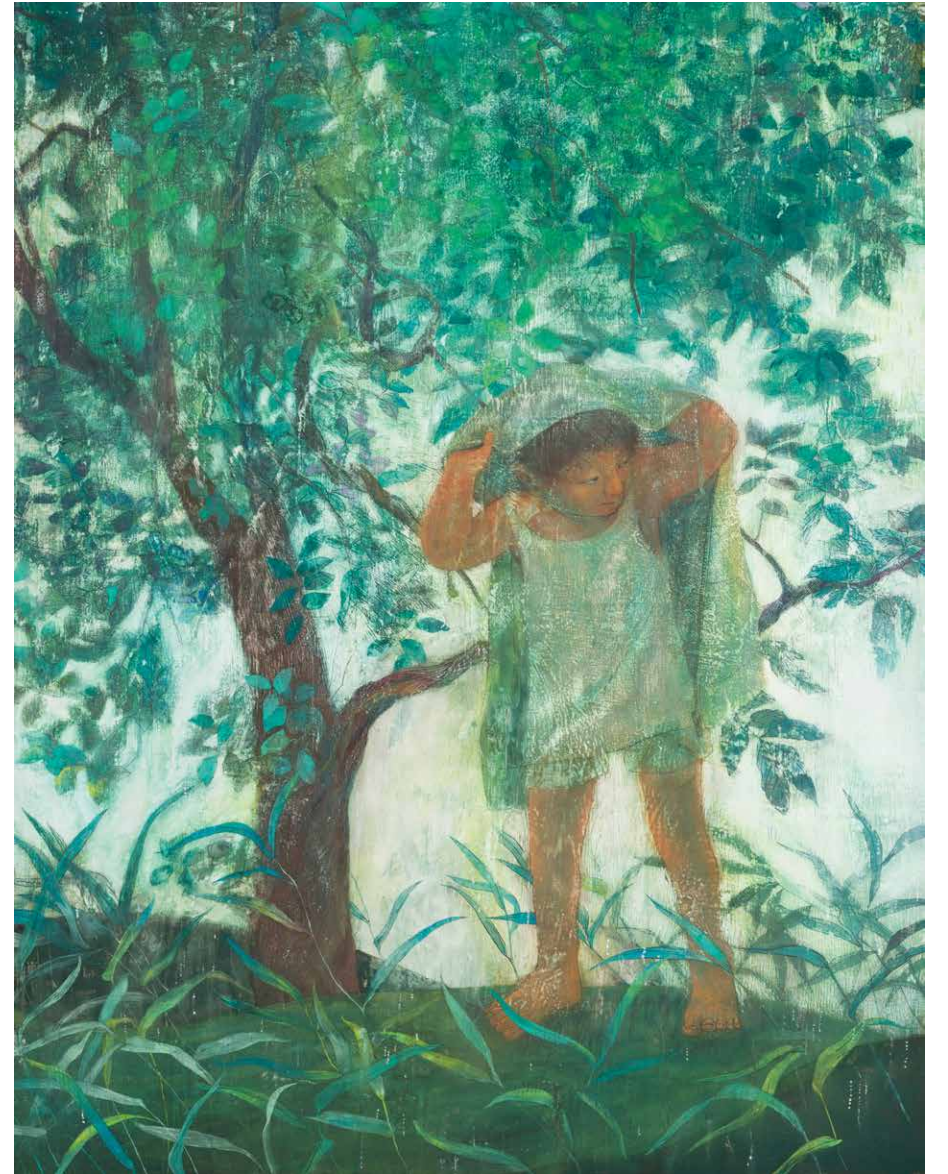
「Stranger」 3000x3000 画用紙、クロッキー帳、水彩絵具、ガーゼ、糸



武蔵野美術大学

椎原 花倫 Karon Shiihara

「漂流ハウジング」 910x2334 雲肌麻紙、岩絵具、水干絵具、墨



多摩美術大学

松田 紫野 Shino Matsuda

「雨宿り」 1167x910 石膏、岩絵具、水干絵具、墨



武蔵野美術大学

玉那覇 愛 Mana Tamanaha

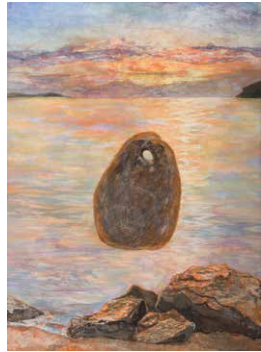
「みたまうもの」 803x2000 和紙、岩絵具、水干絵具、墨



女子美術大学

田所 彩 Aya Tadokoro

「coffret」 727x910 麻紙、岩絵具



手島 Teshima

多摩美術大学

高橋 彩 Aya Takahashi

左 (3枚) : 「黄昏時に沖へゆく」 242x410 和紙、岩彩、銀箔 / 右 (5枚) : 「ある晴れた風の日に」 333x242 和紙、岩彩



多摩美術大学

長谷川 葉月 Hazuki Hasegawa

「遠くへ」 1122x1621 高知麻紙、岩絵具



多摩美術大学

千葉 亜希子 Akiko Chiba

「岸の華」 727x727 和紙、絵具



多摩美術大学

山崎 詩央里 Shiori Yamasaki

「見上げる」 1620x1120 高知麻紙、岩絵具、水干絵具



武蔵野美術大学

山本 真澄 Masumi Yamamoto

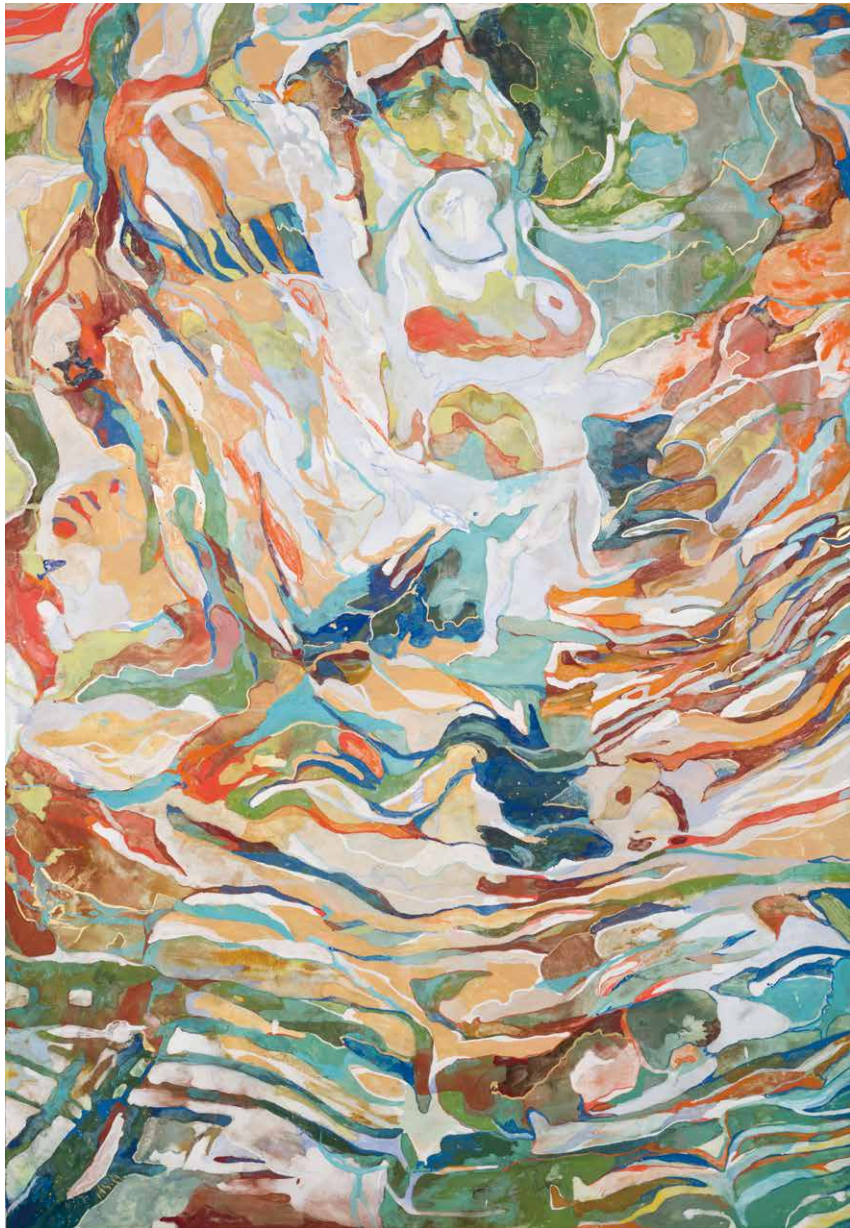
「北浦」 910x727 雲肌麻紙、岩絵具、水干絵具



女子美術大学

菅原 小百合 Sayuri Sugawara

「甘くなるのを待っている」 910x650 雲肌麻紙、岩絵具



多摩美術大学

小島 理紗 Risa Kojima

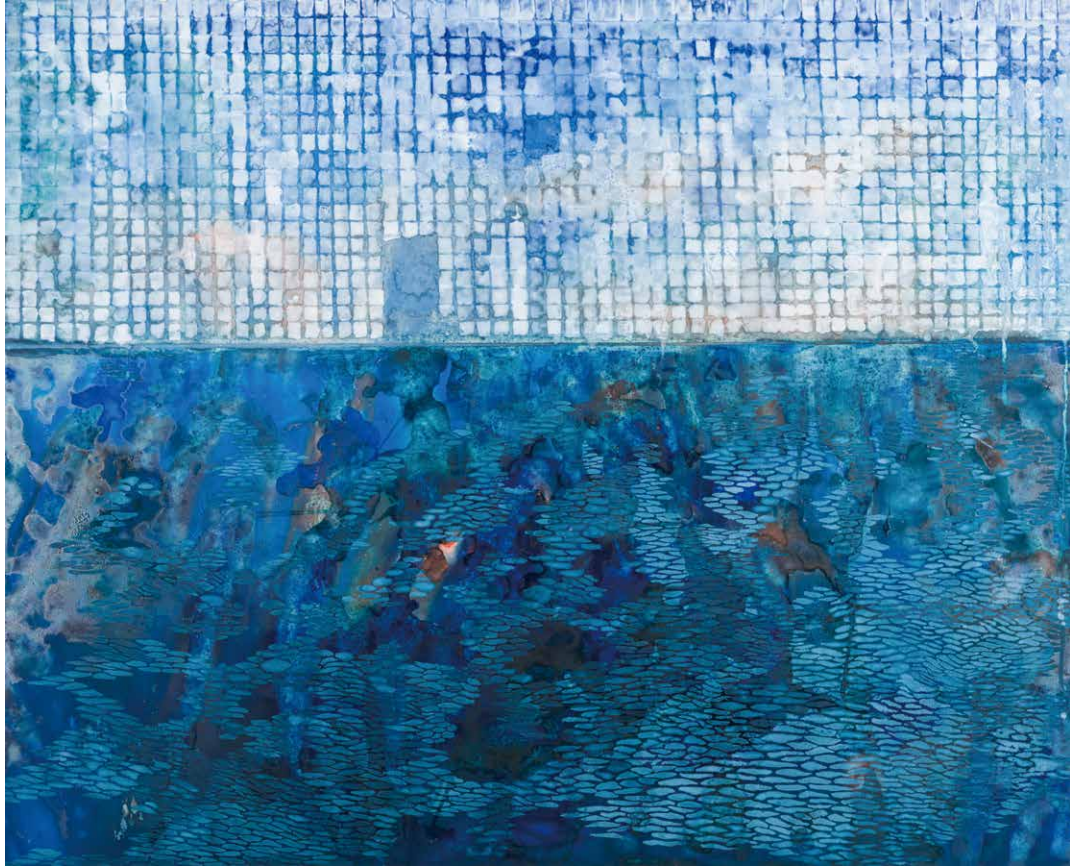
「海岸」 1621x1122 高知麻紙、岩絵具



多摩美術大学

宮内 理沙 Risa Miyauchi

「瞬きの跡」 (上)258x365 / (中)141x181 / (下)210x297 岩絵具、水干絵具、胡粉、ジェッツ、アクリル、貝殻、砂利他

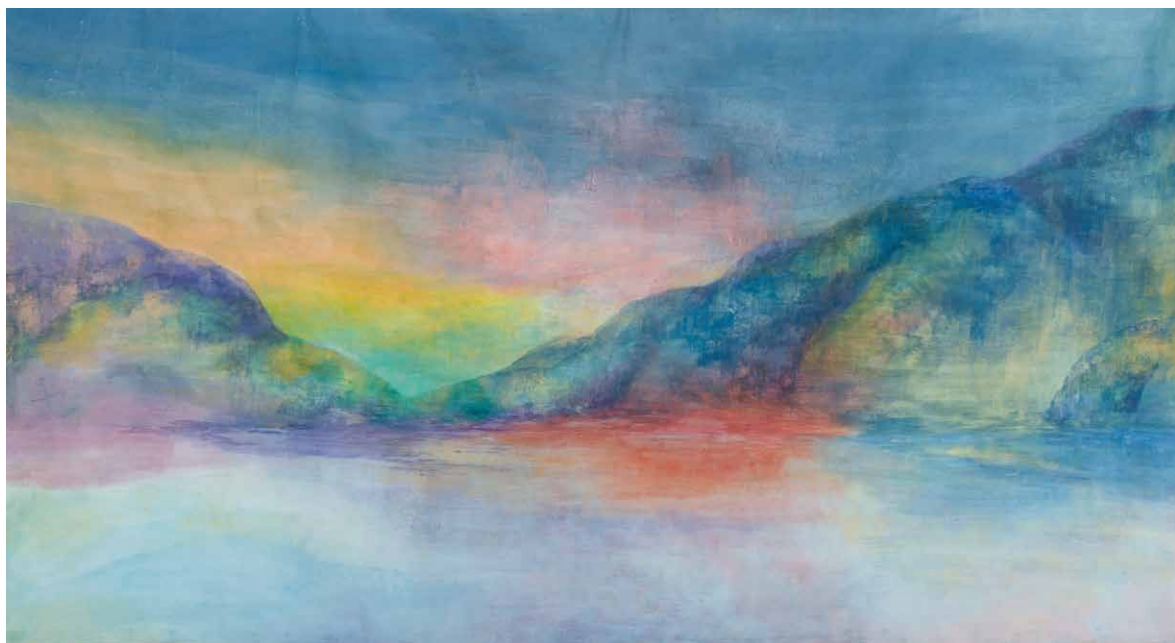


小手島 Oteshima

多摩美術大学

櫻井 伽奈子 Kanako Sakurai

「丸亀」652x803 鳥の子紙、岩絵具



武蔵野美術大学

武田 納穂 Naho Takeda

「水の景色」 1350x2500x2 枚 三彩紙、岩絵具、水干絵具、胡粉



女子美術大学

首藤 由希 Yuki Sudo

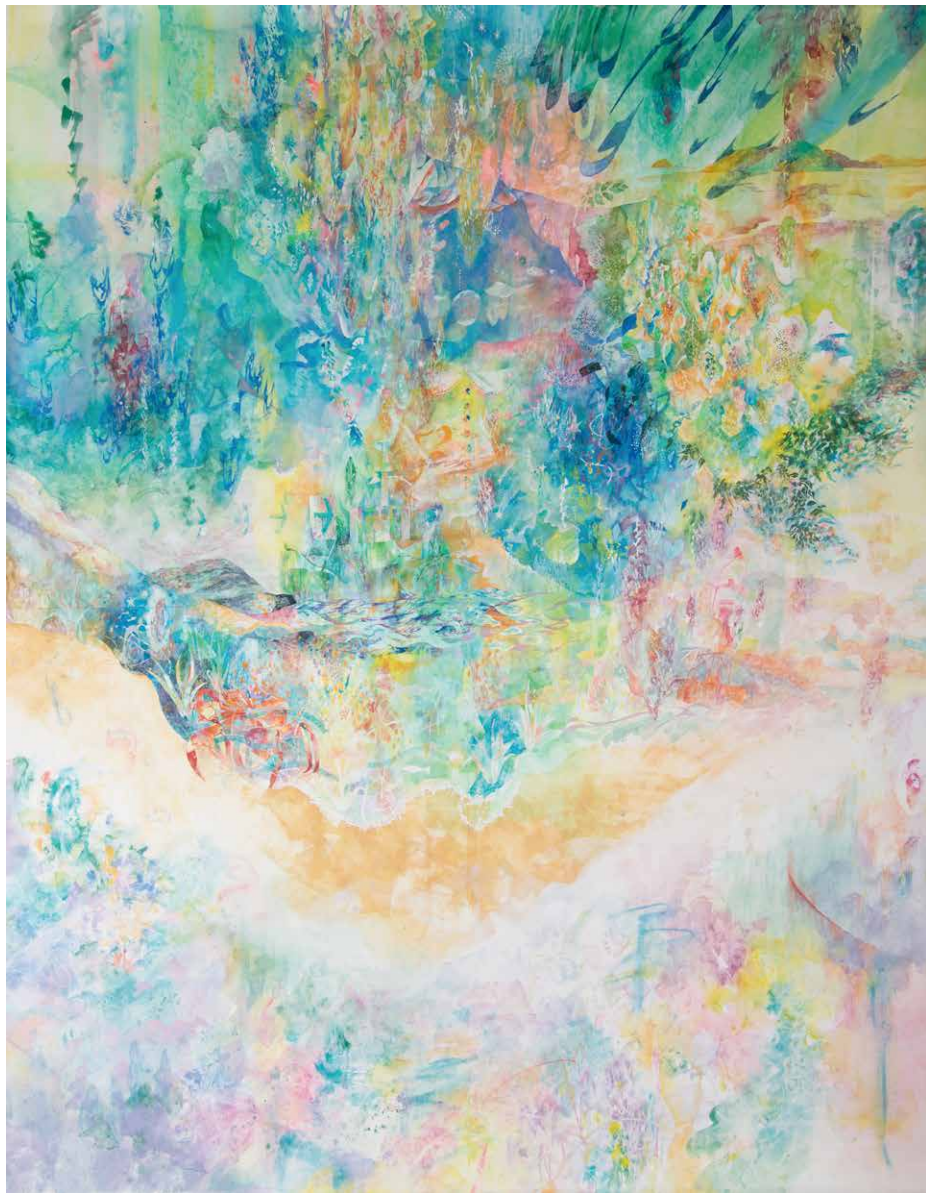
「たからのしま」 255x305x3 枚 / 460x300 / 160x447 / 423x300 雲肌麻紙、岩絵具、水干絵具、水彩絵具、墨



女子美術大学

田島 萌香 Moeka Tajima

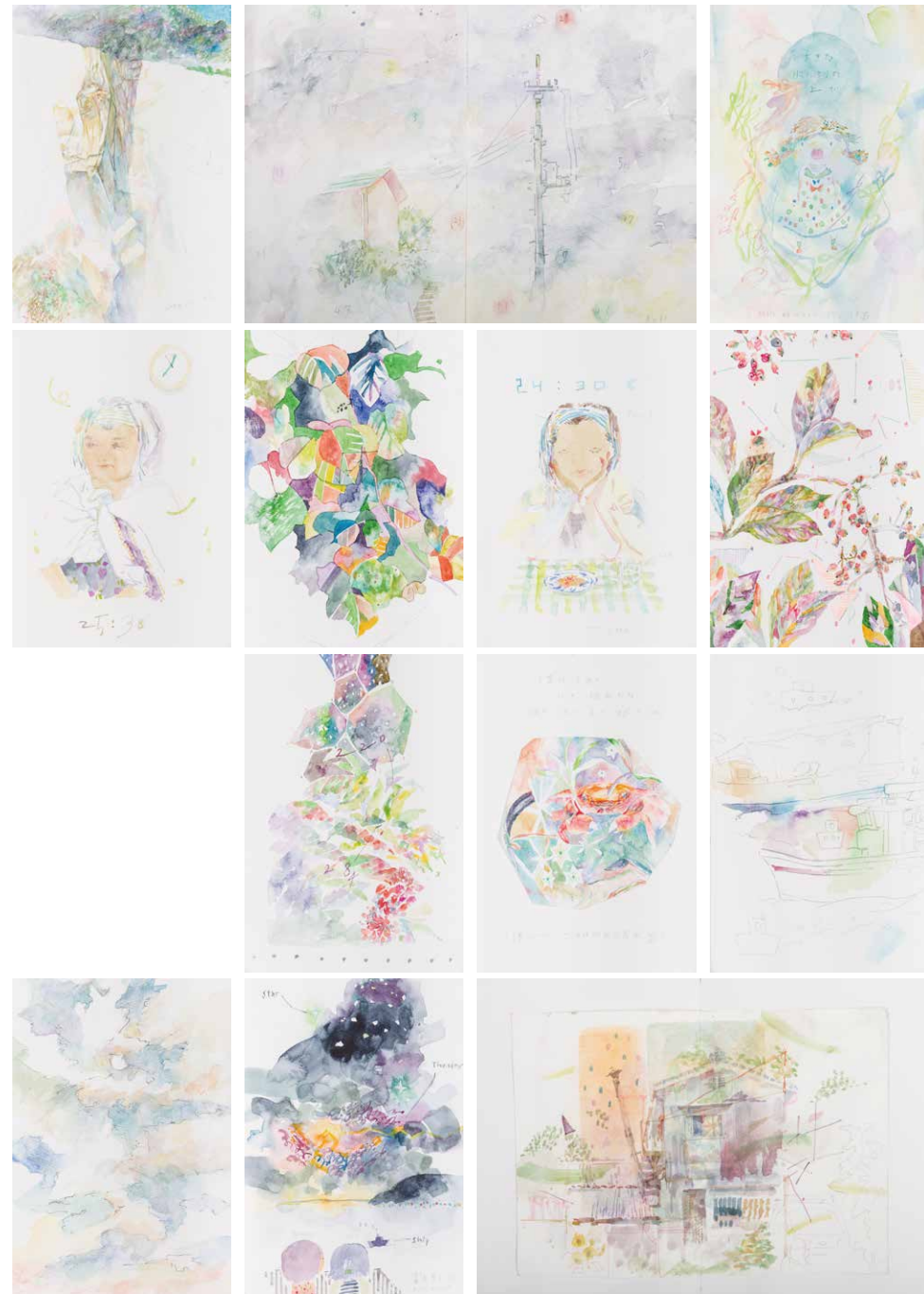
「夏」 605x910 土佐麻紙、岩絵具、水干絵具



多摩美術大学

田嶋 里菜 Rina Tajima

左：「海のない声」 3333x2485 和紙、岩絵具、水干絵具、色鉛筆 / 右：「大きな水たまりの上で」 B5x15 枚 画用紙、水彩絵具、色鉛筆





武蔵野美術大学

島村 朋実 Tomomi Shimamura

「夏の夜明けをふれた」 1840x2000 雲肌麻紙、岩絵具、水干絵具、胡粉、墨



ワークショップ作品



水不足に悩まされる事の多い丸亀市上空を鈍足で通過した台風11号は、私たちの企ての達成に必要な時間の半分以上を奪っていきました。

二つの島で行うはずだった内容の異なる三つのワークショップは、一回のワークショップに集約されましたが、慌ただしくも活気あるものになりました。

《海・空》Iと《海・空》IIという二つの作品は、参加学生が四つのグループ（海A班・海B班・空A班・空B班）に、くじ引きで分かれ制作し、更にくじ引きを繰り返し二点ずつ構成し完成しました。

作為と無作為、偶然と必然、海と空、それらの狭間を往復しながら創られた作品は、天候に翻弄されながらも、開催にこぎつけた今回のワークショップの象徴となりました。

ゲスト講師 / 女子美術大学芸術学部美術学科日本画専攻准教授 宮島 弘道



《海・空 I》



《海・空 II》

HOTサンダルプロジェクト

2014 ワークショップ作品 Workshop 2014



《海・空 I》「空B」



《海・空 I》「海A」



《海・空 II》「空A」



《海・空 II》「海B」

2014

参加者

| | | | | | | | | | | | | |
|----------|----------|----------|----------|----------|----------|-----------|----------|-----------|-----------|-----------|-----------|----------|
| 松田 紫野 | 中島 彩 | 角田 菜摘 | 玉那覇 愛 | 田所 彩 | 高橋 彩 | 柴田 真実 | 椎原 花倫 | 奥 彩乃 | 新舟 真由美 | 濱田 祐 | 久保 謙太郎 | 遠藤 智也 |
| 武田 納穂 | 田嶋 里菜 | 田島 萌香 | 首藤 由希 | 島村 朋実 | 山本 真澄 | 山崎 詩央里 | 宮内 理沙 | 長谷川 葉月 | 千葉 亜希子 | 菅原 小百合 | 櫻井 伽奈子 | 小島 理紗 |

未来の 収穫祭 2014

「HOTサンダルプロジェクト 未来の収穫祭 2014 作品図録」

主催・制作：HOT サンダルプロジェクト実行委員会

編集：泉 桐子（武蔵野美術大学）

撮影：森 勇馬

印刷：株式会社 グラフィック

共催：丸亀市、丸亀市教育委員会、公益財団法人丸亀市福祉事業団、丸亀市猪熊弦一郎現代美術館、公益財団法人ミモカ美術振興財団

協賛：テーブルマーク株式会社、株式会社菅組、株式会社四国銀行坂出支店、株式会社天満屋、天満屋ロイヤルジュエリーサロン、社会福祉法人 浩福会、有限会社 正木薬局